



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和6年 2月 26日
つばさだより 第13号

子供たちのふとしたつぶやきから・・・

- ・「B時程（短縮時間）の4時間って最高だよね。だからうれしい！ずっとこれでいい。」・・・小集団指導で今日の気持ちを聞いていた時にしみじみと話していた一言。確かに、日々の平均5時間の学校の日常は時間感覚の見通しがまだもてない子供にとってはかなり長く、果てしない気持ちになるんだろうなど。
 - ・「土曜授業ってさ、休みを壊すためにあるんだよ」・・・土曜授業の朝、足取り重く階段を上っていく低学年集団の中から聞こえた一言。「そうだよねえ。わかる、わかるよ。うんうん。」と合いの手を入れてあげたくなりました。
 - ・「国語の授業で一つお話が終わるでしょ。なんでそのあとに必ずテストがあるの？」・・・低学年の子と苦手な授業について話をしていたときの一言。学習のシステムの一環として見通しがもてていない子もいます。物語や説明文の後になぜテスト？は考えさせられました。
 - ・「算数って神！」・・・得意な教科。好きな教科に対する気持ちは突き抜けた表現になりますね。好きなものは絶対好き！そんな気持ちが伝わってきました。
 - ・「はあ。疲れた・・・」・・・特に月曜日の朝。6時間目の始まりに耳にする言葉です。
 - ・「漢字って読み方がいろいろあるからすごく混乱する。」・・・一言に「苦手」と言っても個々に話を聞いていくといろいろ細分化される苦手さもあります。「読む」「書く」「記憶する」「意味を理解する」漢字の学習では多くを求められます。経験がある人もいるかと思いますが、後から「ああそういう意味か！」と理解することもあります。「苦手」の中身がわかっていると、支援の形も変わってきます。
 - ・「宿題で漢字書くてしょ。書き順が違うって。(指摘されて)俺はさ、形があってればいいじゃん・・・って」・・・学校からすると悩ましいつぶやきです。しかし、子供たちの学習に向かうモチベーションはその時々で様々に変化することもあります。学習やそのときの心の状態や普段の癖なども前提にマイナスにならない形で、状況に応じた駆け引きで大人も応援できればと思います。
- 学校の生活の中にはよい、悪いも混在しながら様々なつぶやきがあります。何気ない日常ではありますが、子供たち（社会で働く大人たちも）は本当に「頑張ってるよなあ」と思います。お互いの頑張りに、一つ一つのつぶやきにエールを送りたいですね。

「つばさ相談ポスト」の設置

つばさ教室の前に「つばさ相談ポスト」を設置しました。相談用紙をポスト脇と西昇降口に用意しました。聖ヶ丘小学校のどの人も使うことができます。学校には担任の先生をはじめ、専科、スクールカウンセラーの先生多くの先生がいます。ただ、「相談」を自発的に行うのは結構勇気や本人のスキル（相談のタイミングを図る等）も必要になってきます。また、相談するかしないかも迷うこともあると思います。そこで、ちょっとしたことでまず何か行動を起こしやすいものとして今回ポストを設置しようと思いました。現段階では大々的に宣伝しているわけでもありません。ひっそりとポストが置いてあるだけです。今後、ちょっとしたみんなの相談に役立てていければと思います。

お知らせ（再掲）

つばさ教室 保護者会を行います。今年度最後となります。ぜひご参加ください。

- ・会の進行予定 ① つばさ教室1年を振り返って・情報共有（ご家庭からの感想・近況報告）
② 子供の成長と凸凹について（つばさより）
③ おすすめ情報（絵本・本・そのほかメディア情報など・共有）
- ・日時 3月7日（木）15:00～15:45 ・場所 つばさプレイルーム